

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	大分県	事業実施主体	佐伯市	地域再生計画名	将来へ引継ぐ公共水域の保全
計画期間	令和元年度～令和7年度	評価責任者	佐伯市上下水道部下水道課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績		基準年度	最終実績					
	目標 1	施策による移住者数（人/年）	92	H29	60	R3	93	60	R7	64	○	指標 総数		達成 数
	目標 2	水環境の改善（BOD削減：Kg）	5,834	H29	16,616	R3	13,177	27,552	R7	23,361	×			
	目標 3	污水处理人口普及率の向上（%）	74.2	H29	75.6	R3	79.0	80.0	R7	84.2	○			
目標 4	水産業生産額（億円/年）	220	H29	240	R3	242	260	R7	229	×				
②事業の実施状況に関する客観的な指標（KPI）の実現状況	重要業績評価指標（KPI）		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況			
	指標 1	集落排水施設の改良処理場の維持管理費の削減（千円/年）	138,700	H29	136,200	R3	134,424	134,300	R7	141,090	-			
	指標 2	農林水産業を次世代につなぐ取組・支援インターンシップ者数（人/年）	8	H29	10	R3	27	10	R7	41	-			
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度（R3）	最終実績									
	地域再生計画に記載がある特別の措置を適用して行う事業	農業集落排水事業（事業費）		683,722千円	664,440千円	659,480千円	事業費は計画より少額で老朽化した既存施設の改築を行ったが、目標にある水環境の改善については事業実施による効果が想定よりも小さかった。既存施設の改築は今後も必要になってくるので事業実施の検討を行っていく。							
		漁業集落排水事業（事業費）		584,814千円	584,668千円	510,464千円	事業費は計画より少額で老朽化した既存施設の改築を行ったが、目標にある水環境の改善については事業実施による効果が想定よりも小さかった。既存施設の改築は今後も必要になってくるので事業実施の検討を行っていく。							
		浄化槽（設置基数）		1,027基	457基	893基	計画1,027基に対して最終実績は893基となり、全体期間の進捗率は約87%となった。 (R1：169基、R2:126基、R3:162基、R4:154基、R5:128基、R6:80基、R7:74基)							
その他の事業														
計画外で独自に実施した事業	合併処理浄化槽への転換に対する上乗せ補助		既設単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換を推進するため、上乗せ補助を行った。			上乗せ補助(設置工事に対して20万円/基)を上乗せ補助)したことで、合併処理浄化槽の転換に寄与することができた。								
④評価方法	学識経験者による評価													
⑤事後評価の公表方法	佐伯市ホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、污水处理施設整備推進交付金を活用して集落排水施設の改修と合併処理浄化槽の整備を一体的に実施することで、農業・漁業集落の生活環境の向上を図り、後継者の定住促進を目指すとともに農業用水・養殖漁業等の水質保全を図ることで農業・水産業の振興を目指すことを目的としていた。 移住者数および污水处理人口普及率の向上については目標を達成したが、水環境の改善については合併処理浄化槽の設置が計画どおり進まなかったことから、目標達成には至らなかったものの、一定の改善が図られた。水産業生産額についても社会情勢（物価高騰等）により目標に達成には至らなかったが、一定の成果を図ることができた。													
⑦今後の方針等	令和8年度から「新しい地方経済・生環境創生交付金（第2世代交付金）」に制度が再構築されることから、内容を精査した結果、今後は農業・漁業集落排水事業については農山漁村地域整備交付金で、浄化槽事業は循環型社会形成推進交付金でそれぞれ整備を行うことで、生活環境の向上や水質保全を図る。													